

2013. 6【vol.36】

# 水レター「びわ湖・よど川」

独立行政法人水資源機構 関西支社 発行

水資源機構全体の取り組みや関西支社管内における情報のほか、琵琶湖・淀川水系の水源地域情報を、水レター「びわ湖・よど川」により、関係機関の皆様にお知らせします。

## index

- |  |    |
|--|----|
| 1. 洪水期に向けての貯水位移行について                   | 1p |
| 2. 関西支社管内の気象と水源状況                      | 2p |
| 3. 総合技術センターの紹介                         | 3p |
| 4. 水源地マラソン紀行（その1 2）                    | 4p |
| 5. 『仕事への取り組み方等のキャッチフレーズ(関西いろはカルタ)』のご紹介 | 5p |
| 6. イベント情報                              | 5p |
| 編集後記                                   |    |



水がささえる豊かな社会



独立行政法人 水資源機構

# 1. 洪水期に向けての貯水位移行について

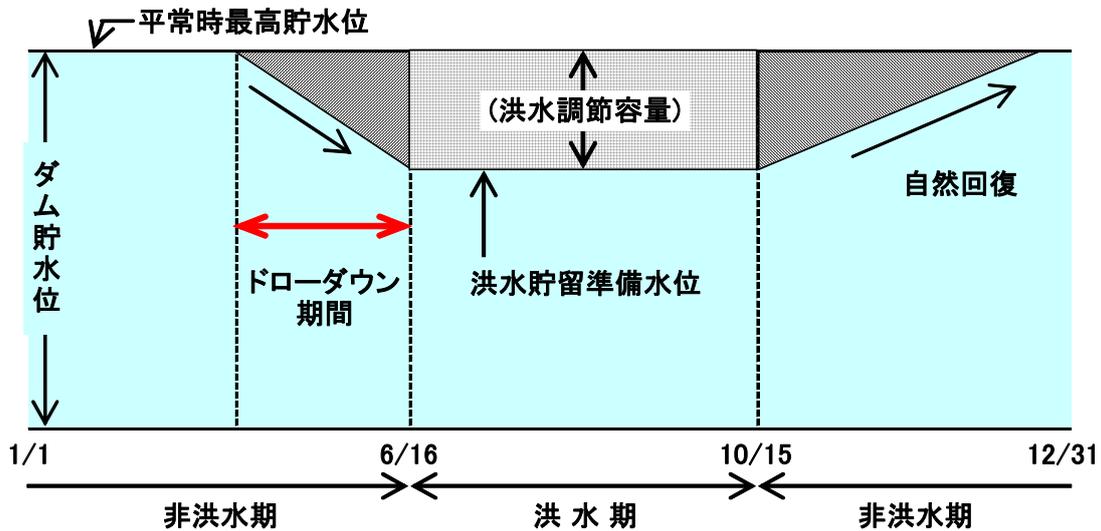
関西支社管内の7つのダム（高山ダム、青蓮寺ダム、室生ダム、一庫ダム、布目ダム、日吉ダム、比奈知ダム）では、洪水期（6月16日から10月15日まで）の梅雨や台風の大雨に備えて、ダムの貯水位を2ヶ月程度かけて「平常時最高貯水位」から「洪水貯留準備水位」まで移行（以下「ドローダウン」と記載します。）しています。

ドローダウンでは、急激な水位低下（急激な放流）は下流河川へ危険が生じることから、以下の計算式からドローダウン時の放流量を求めて放流計画を作成し、洪水期が始まる6月16日0時までには洪水貯留準備水位に到達するように、ダムからの放流量の管理を行います。

## 【計算式】

$$\text{放流量} = \frac{\text{平常時最高貯水位の貯水量} - \text{洪水貯留準備水位の貯水量}}{\text{ドローダウンに要する期間}} + \text{日当たり流入量}$$

## ドローダウン イメージ図



（関西支社 施設管理課）

## 2. 関西支社管内の気象と水源状況

5月の気象状況は、気象庁の発表によると、西日本では、高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、月降水量はかなり少なく、月間日照時間はかなり多かったようです。

関西支社管内の水源における月間の降水量は、全ての水源において、平年降水量を大きく下回りました。関西支社管内における各水源（各ダム）の貯水率は、洪水貯留準備水位へ向けて貯水率を下げているため貯水率が低下していますが、今のところ渇水などの影響はありません。

### ～ 水資源機構(関西支社管内)の水源状況 ～

平成25年6月11日 9:00現在

施設名	貯水位(標高. m)	貯水量(万m <sup>3</sup> )	貯水率(%) <sup>※2</sup>	降水量(mm) <sup>※3</sup>	
				(観測値)	(平年値)
高山ダム	117.76	1,489	30.3	47	142
青蓮寺ダム	270.99	1,389	72.7	49	133
室生ダム	289.93	841	63.2	46	137
布目ダム	279.46	919	72.3	39	164
比奈知ダム	292.37	962	62.9	49	147
一庫ダム	136.85	1,455	54.3	57	154
日吉ダム	178.37	1,582	43.9	25	132
琵琶湖	B.S.L. -20cm	—	—	59.0	168.0
7ダム 合計	—	8,637	49.0%	—	—

※1 琵琶湖水位は、6月11日 6:00の水位を表示しています。

※2 貯水率は、10月16日から非洪水期の利水容量で計算しています。

※3 降水量については、5月1日～5月31日までの累計値で、

琵琶湖は流域平均雨量、各ダムはダム地点降水量を表示しています。

水資源機構の関西支社管内における各ダムの貯水状況は、関西支社ホームページの水源情報に掲載しております。

<http://www.water.go.jp/kansai/kansai/html/suigen/suigen.html>

(関西支社 施設管理課)

### 3. 総合技術センターの紹介

このコーナーでは、水資源機構の「総合技術センター」についてご紹介します。

前号の水レターでは、水資源機構の組織である「総合技術センター」の目的、体制や技術支援メニューについてご紹介させていただきましたが、今回は、「総合技術センター」の主な技術支援について、国や地方自治体からの受注実績などをご紹介します。

#### 1. ダムの建設関連

##### (1) ダム本体工事発注支援業務

総合評価落札方式に係る施工計画（標準案）の作成、入札参加希望者から提出される技術提案の審査や評価の支援、発注図面や特記仕様書などの審査のほか、標準案に基づくダム本体工事の積算も行います。

###### 【受注実績】

国土交通省：尾原ダム（中国地整）、殿ダム（中国地整）、湯西川ダム（関東地整）、八ツ場ダム（関東地整）、津軽ダム（東北地整）、横瀬川ダム（四国地整）、長安口ダム改造（四国地整）、沖縄総合事務局：徳首ダム、地方自治体：畑川ダム（京都府）、槇尾川ダム（大阪府）、安威川ダム（大阪府）、大門ダム（奈良県）

##### (2) ダム本体工事施工監理業務

ダム本体工事（土木）、取水放流設備工事（機械）や管理用設備工事（電気）などについて、機構職員が現地に常駐して、発注者の意図に沿った施工がなされるように施工監理を行います。

###### 【受託実績】

国土交通省：津軽ダム（東北地整）、殿ダム（中国地整）、長安口ダム改造（四国地整）、地方自治体：畑川ダム（京都府）、大門ダム（奈良県）

##### (3) 試験湛水監視業務

ダムなどに係る試験湛水の基本設計会議の資料作成や、試験湛水期間における堤体安定性のほか貯水池周辺斜面安定性などの評価を行います。

###### 【受託実績】

大門ダム（奈良県）、畑川ダム（京都府）

#### 2. ダムの管理関係

ダム定期点検

管理しているダム施設の健全性や安全性に関する点検のほか、機械や電気設備等の更新計画策定などを行います。

###### 【受託実績】

丸山ダム（西宮市）

（総合技術センター）

## 4. 水源地マラソン紀行 (その12)

だいぶ暖かくなってまいりました。走っていると汗が止まりません。

5月19日(日)は、滋賀県長浜市の「奥びわ湖健康マラソン」に初めて出場しましたので、その模様をお伝えします。

この大会は、今回が33回目の開催となる歴史ある大会で、景色の良い琵琶湖の北岸を走ること、新緑の季節に走ることなどから人気が高いと噂の大会です。

周辺の駐車場に限りがあるという案内だったのでJRで会場に向かいます。

湖西線も近江今津駅を過ぎると本数も減り、敦賀までは1時間に1本となります。大会に参加するランナーは自ずと大会に間に合う、京都駅8時15分発→永原駅9時31分着の新快速敦賀行きに乗車しなくてはなりません。「永原駅」に向かう列車は通勤ラッシュ並の大混雑です。おかげで永原駅に到着した頃には体も温まり、準備運動も完了です。

11時にはいよいよ健康マラソンの部15kmのスタートです。

旧西浅井町の町並みを過ぎると、湖岸沿いの景色が現れます。琵琶湖の北岸は普段見慣れた琵琶湖の風景と異なり、案内のチラシにありましたが山が湖に迫っており、まさに「フィヨルド」の風景です。

風景もほどほどにがんばって走っていると折り返し地点に到達です。折り返し地点は奥琵琶湖パークウェイの入り口で、「竹生島」が眺望できる場所です。当日はどんよりとして天気は今一ですが晴れていれば素晴らしい風景でしょう。帰りはスタミナも無くなってきて、風景を楽しむ余裕もなく、早くゴールに辿り着きたいとの思いでゴールです。

順位やタイムなどの記録はありませんが、景観も美しく比較的フラットなコースということもあり、大会予定者数を上回る2,141名が出走するという人気ぶりも伺えます。

また、大会会場では地元の特産品のコーナーも多数ありとても充実した大会です。

なお、帰りもJR「永原駅」に向かいます。帰りは行き以上に混んでおり、ホームからは人が溢れています。1時間に1本の新快速を待っていると、「隣の駅で列車が鹿と衝突し、到着が20分遅れます。」との場内放送。大阪だったら重大事故です。場内放送の直後から雨が降り出すので、散々な目に遭いましたが、美しい湖岸の風景は忘れることができません。

次回は、今シーズン最後の「青山高原つつじクォーターマラソン」の模様をお伝えします。

(ダムを走る男)



ランナーと竹生島

(注：ランナーと筆者は関係ありません。)



ゴール後は地元名産「鴨そば」を堪能

## 5. 『仕事への取り組み方等のキャッチフレーズ（関西いろはカルタ）』のご紹介

第一次南極越冬隊長などを歴任した西堀榮三郎博士らが選んだ創作ことわざ「西堀かるた」があります。それは、ユーモアと示唆に富み、その面白さと生活に“希望を与え、決心を促し、人生を楽しくする”西堀かるたは近年賛同者が増えています。水資源機構関西支社でも、「西堀かるた」に倣い、国民や利水者の皆様からの更なる信頼を得られ、より効率的な業務運営ができる組織づくりを図るため、職員一人ひとりの仕事への取り組み方、定時退庁の呼び掛けや心構え等も含めた日頃の業務の指標として、「関西いろはカルタ」を平成23年度に作成いたしました。

関西管内の事業所で取りまとめた『仕事への取り組み方等のキャッチフレーズ（関西いろはカルタ）』をご紹介します。



平成24年3月から紹介してきました「仕事への取り組み方等のキャッチフレーズ（関西いろはカルタ）」ですが、今回は最後となります。

## 6. イベント情報

### 「比奈知ダムホタル鑑賞会」を開催

日時：平成25年6月20日（木） 20時00分～21時30分

場所：比奈知ダム下流の親水公園（三重県名張市上比奈知）

その他：参加費は無料、申し込みは不要です。

※ 雨天の場合は中止となります。

ホタルの成育状況によっては、日程を変更する場合があります。

詳しくは→ [http://www.water.go.jp/kansai/kizugawa/hinati/news/pdf/20130524\\_hotaru.pdf](http://www.water.go.jp/kansai/kizugawa/hinati/news/pdf/20130524_hotaru.pdf)



□ ■ 編集後記 ■ □



『梅雨』。

じめじめした、いや～な季節になりました。

近畿地方では5月28日に梅雨入りが発表されましたね。これは平年より10日ほど早い梅雨入りようです。

でも、梅雨入りしたものの、あまり雨が降ってないような気がします。こんなんでも梅雨に入ってるの？と疑問に思い、「梅雨入り」の定義って何だろうと調べてみました・・・。

ネットによると、「梅雨入りの発表」とは、『数日から一週間程度の天候予想に基づき、地方予報中枢官署が気象情報として発表するもので、情報文には予報的な要素を含んでいるため、「梅雨入りの【宣言】」としては使用しない。』そうです。

数値的に明確な基準はないみたいです。

あくまでも予報であり、速報値として発表されるため、後日、天候経過を総合的に検討し、最終的なものとして確定値として修正されることもあるというわけです。(例年9月頃に確定値を出しているようです。)

なお、梅雨入り(明け)の発表をするようになったのは、マスコミからの要請があったからようです。これは意外でした。でも、雨による災害が起きやすい時期ですし、農作物の出来にも影響があり、もちろん、水にかかわる仕事をしている私たちにも関係してくることで、社会的に関心が高かったからでしょうか。

以上、梅雨に関して調べてみましたが、4月から当誌の編集委員をしている新米編集委員が速報として書いたものであり、ベテラン編集委員により修正されたものが9月に確定版として掲載される場合があるかもしれませんが・・・なんて(^\_^;)

そうならないように勉強していきますので、今後ともよろしくお願いします。

自己紹介が遅れましたが、4月に関西支社配属となりました。数年ぶりにハイヒールでの通勤をしています。通勤も慣れてきたかなと思っていたら、最近足の親指の付け根が痛く、どうも外反母趾の症状に見事に当てはまりました。。原因は様々ですが、歩き方が悪いと足の筋力が低下し、症状が進行してしまうそうです。悪くならないように、足の筋力アップのため、簡単な運動をしなくてはと思っている今日この頃です。

その前に、まずは病院に行ってきます・・・

(秋の七草・すすき)



水資源機構ツイッター

[http://twitter.com/jwa\\_PR](http://twitter.com/jwa_PR)

水資源機構関西支社

<http://www.water.go.jp/kansai/kansai>

水レター「びわ湖・よど川」に対して、ご要望・ご意見等がございましたら、下記アドレスまでご連絡ください。(耳寄りな情報もお待ちしております。)

mailto: w-kansai@msg.biglobe.ne.jp